ステイシア MEBLux テスト AQP4 抗体 陽性コントロール

作成日: 2025年02月21日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報
   1.1 化学品の名称 :
   製品名称 : ステイシア MEBLux テストAQP4抗体 陽性コントロール
   SDS NO:2440_211_J-1
   構成品名:ステイシア MEBLux テスト用 AQP4 抗体 陽性コントロール
   品番:2440-211
   1.2 推奨用途及び使用上の制限
   推奨用途 : 管理研究用
   使用上の制限 : 推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと。
   1.3 供給者の会社名称、住所及び電話番号
   供給者の会社名称 : 株式会社医学生物学研究所
   住所 : 〒396-0002 長野県伊那市手良沢岡1063－103
   担当部署 : SDSサポート
   電話番号 : 0265-76-1777
   e-mail address : sds-support@mbl.co.jp
   1.4 緊急連絡電話番号 : 0265-76-1777(月ー金曜(祝祭日を除く), 09-17時)

2. 危険有害性の要約
   2.1 化学品のGHS分類
   区分に該当しない/分類できない
   2.2 GHSラベル要素
   絵表示:該当しない
   注意喚起語:該当しない

3. 組成及び成分情報
   化学物質・混合物の区別 :
   3.2 混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号	分類コード及びHコード
2-モルホリノエタンスルホン酸・一水和物(MES)	145224-94-8	0.21	-	-
アルブミン, ウシ由来(血しょう)	9048-46-8	1.00	-	-
アジ化ナトリウム	26628-22-8	0.09	1-482	Self-react. G; Acute Tox. 2, H300; Acute Tox. 1, H310; Skin Corr. 1, H314; Eye Dam. 1, H318; STOT SE 1, H370; STOT RE 1, H372; STOT RE 2, H373; Aquatic Acute 1, H400; Aquatic Chronic 1, H410;
水	7732-18-5	97.8	既存化学物質	-

危険有害成分
毒物及び劇物取締法, 労働安全衛生法「表示、通知すべき有害物」, 化管法に該当する危険有害成分なし

4. 応急措置
   4.1 応急措置の記述
   一般的な措置
   気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

吸入した場合
吸入した場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合
皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
眼に入った場合
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合
飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。

4.2 急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状
徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。

4.3 医師に対する特別な注意事項
症状に応じた治療を施す。

5. 火災時の措置

5.1 消火剤
適切な消火剤
周辺設備に適した消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤
使ってはならない消火剤データなし

5.3 消火を行う者への勧告
特有の消火方法
関係者以外は安全な場所に退去させる。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
安全に対処できる場合は漏洩を止める。

6.2 環境に対する注意事項
漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材
不活性の物質（乾燥砂、土など）に吸収させて、容器に回収する。

二次災害の防止策
安全に対処できるならば漏えい(洩)を止めること。
危険でなければ漏れを止める。
排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

6.4 参考情報
項目13参照

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 取扱い
技術的対策
（取扱者のばく露防止）
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
安全取扱注意事項
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
接触回避データなし
衛生対策
取扱い後は手をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

7.2 保管
安全な保管条件
容器を密閉しておくこと。
国際/国/地方の規則に従って保管すること。
安全な容器包装材料
他の容器に移し替えないこと。
7.3 特定の最終用途
項目1に記載された特定の用途について、この項目で記載されているアドバイスを遵守してください。

8. ばく露防止及び保護措置
許容濃度等
管理濃度及び濃度基準値
設定されていない
職業ばく露限界値
日本産業衛生学会
設定されていない
ACGIH
(アジ化ナトリウム)
Ceiling: 0.29mg/m3(as Sodium azide); Ceiling: 0.11ppm(as Hydrazoic acid vapor) (心臓障害; 肺損傷)
設備対策
適切な換気のある場所で取扱う。
手洗い/洗顔設備を設ける。
保護具
手の保護具
保護手袋を着用する。
眼及び/又は顔面の保護具
保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
皮膚及び身体の保護具
保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質
物理状態 : 液体
色 : 無色
臭いデータなし
臭いの閾値データなし
融点/凝固点データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲データなし
可燃性データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし
引火点データなし
自然発火点データなし
分解温度データなし
pH : 6.0
動粘性率データなし
溶解度:
水に対する溶解度データなし
溶媒に対する溶解度データなし
n-オクタノール/水分配係数データなし
蒸気圧データなし
密度及び/又は相対密度データなし
相対ガス密度(空気=1)データなし

粒子特性データなし
9.2 その他の情報
酸化特性データなし
臨界温度データなし
蒸発速度データなし
VOCデータなし
その他のデータなし

10. 安定性及び反応性
10.1 反応性
反応性データなし
10.2 化学的安定性
通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
10.3 危険有害反応可能性
危険有害反応可能性データなし
10.4 避けるべき条件
避けるべき条件データなし
10.5 混触危険物質
混触危険物質データなし
10.6 危険有害な分解生成物
危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報
11.1 毒性学的影響に関する情報
急性毒性
急性毒性(経口)
[NITE-CHRIP]
(アジ化ナトリウム)
ラット LD50: 45 mg/kg (出典: NITE)
急性毒性(経皮)
[NITE-CHRIP]
(アジ化ナトリウム)
ウサギ LD50: 20 mg/kg (出典: NITE)
急性毒性(吸入)
皮膚腐食性/刺激性
[NITE-CHRIP]
(アジ化ナトリウム)
区分 1 (出典: NITE)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
[NITE-CHRIP]
(アジ化ナトリウム)
区分 1 (出典: NITE)
呼吸器感作性又は皮膚感作性
呼吸器感作性
皮膚感作性
生殖細胞変異原性
発がん性
[ACGIH]
(アジ化ナトリウム)
A4: ヒト発がん性因子として分類できない
生殖毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)
誤えん有害性
11.2 その他情報
労働基準法:疾病化学物質
アジ化ナトリウム

12. 環境影響情報
12.1 生態毒性
水生環境有害性
水生環境有害性 短期(急性)
[NITE-CHRIP]
(アジ化ナトリウム)
藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata) 96時間 ErC50: 348 μg/L (出典: NITE)
水溶解度
(アジ化ナトリウム)
41.7 g/100 mL (17℃) (出典: ICSC, 2014)
12.2 残留性・分解性
(アジ化ナトリウム)
急速分解性なし (分解度: 1% (by HPLC)) (出典: NITE)
12.3 生体蓄積性
(アジ化ナトリウム)
log Pow: < 0.3 (出典: NITE)
12.4 土壌中の移動性
土壌中の移動性データなし
12.7 他の有害影響
オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意
残余廃棄物
環境への放出を避けること。
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
汚染容器及び包装
内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意
国際規制
UNRTDG
該当しない
14.2 品名 (国連輸送名): 該当しない
14.3 国連分類 : 該当しない
14.4 容器等級 : 該当しない
IMDG Code (国際海上危険物規程)
該当しない
14.2 品名 (国連輸送名): 該当しない
14.3 国連分類 : 該当しない
14.4 容器等級 : 該当しない
IATA (航空危険物規則書)
該当しない
14.2 品名 (国連輸送名): 該当しない
14.3 国連分類 : 該当しない
14.4 容器等級 : 該当しない

14.5 海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当
14.6 特別の安全対策
情報なし
14.7 IMOによるばら積み輸送される物質
MARPOL条約附属書II - 有害液体物質
有害でない物質(OS類)
水
MARPOL条約附属書V - HME(海洋環境に有害)
IMO規則に従うばら積みでの海上輸送は適用されない。
国内規制
海上規制情報
船舶安全法:該当しない
航空規制情報
航空法:該当しない

15. 適用法令
該当法令
毒物及び劇物取締法
毒物及び劇物取締法に該当しない。
労働安全衛生法
特化則に該当しない
有機則に該当しない
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。
化学物質管理促進(PRTR)法
化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。
消防法に該当しない。
化審法における特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。
記載する事項なし。

16. その他の情報
参照文献及び情報源
Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 23rd edit., 2023 UN
IMDG Code, 2024 Edition (Incorporating Amendment 42-24)
IATA 航空危険物規則書 第67版 (2026年)
2024 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2026 TLVs and BEIs. (ACGIH)
許容濃度等の勧告 (2025年度)(日本産業衛生学会)
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)
Supplier's data/information
改訂履歴
改訂情報なし
責任の限定について
本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ(独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム(NITE-CHRIP)(令和6年度 (2024年度) 公表分まで))です。